

表現される神とまつり

日本各地に神社はあります。神社では、「自身や日本全国などに、災いがなく、良いことがあるように」と願う人々が、神に対してまつりをおこないます。

人々はまつりにあたり、さまざまなものを形作ってきました。それらは、長い歴史の中で、細部が変化しながらも、その基本は受け継がれています。ここでは、その流れを紹介します。

顕われる神の姿

特色ある自然の地を、神の場と見立てる



おおみわ
大神神社（奈良県）山ノ神遺跡磐座（復元）と三輪山

まんだら
熊野那智参詣曼荼羅（國學院大學図書館蔵）と那智大滝（和歌山県）

木や鏡を
神の象徴と考える



かすが
春日鹿曼荼羅
（國學院大學図書館蔵）

人（僧侶）の姿で神を表現する



男神像・女神像



そうぎょう
僧形八幡神像

生活の象徴を
合わせて表現



たのかんさあ
田の神様
【手に杓文字と米びつ・農業】



おしらすま
【頭部が桑の枝・養蚕業】

神に奉る品

布・紙など



伊勢の神宮（三重県）^{へいはく}幣帛



春日大社（奈良県）金剛御幣

木で幣束を作る



けずりかけ

衣料



伊勢の神宮神御衣^{かんみそ}



はいし からぎぬ
背子（唐衣）

武具



すがりのおんたち
『大神宮御神宝絵図』須我利御太刀



おんほこ
御鉾

食糧 (神饌) しんせん



大嘗祭御饌 (模型) と宮中新嘗祭で用いる箸 だいじょうさい にいなめさい



春日大社御棚神饌

持ち運びできるように追求する



北野天満宮 (京都府) ずいきみこし (模型)



賀茂御祖神社 (下鴨神社・京都府) 神饌 みおや

神の居すところ

神の座



りゅうびん 龍鬘



みちょうだい 御帳台 (模型)

神の建物



大嘗宮 (模型)



伊勢の神宮皇大神宮御正殿 (模型)

まつりで人が用い繰り出すもの

まつりの場で用いる調度品



山ノ花遺跡（静岡県）出土案（復元）

祈願・修行で用いられるもの

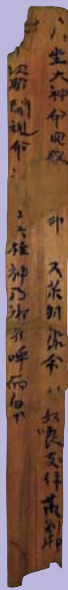


伊勢流祓・祓具

（伊勢殿神社〈埼玉県〉蔵） 吉田神道行事壇（復元）



神に願う言葉



のりと
祝詞木簡（複製）

（原品・浜松市博物館
〈静岡県〉蔵）

おまもり・おふだ

願いを形にする



じゅふ
呪符木簡（複製）【病気よけ】
（原品・浜松市博物館〈静岡県〉蔵）



そみんしょうらい
蘇民将来【疫病よけ】 ち
茅の輪【疫病よけ】

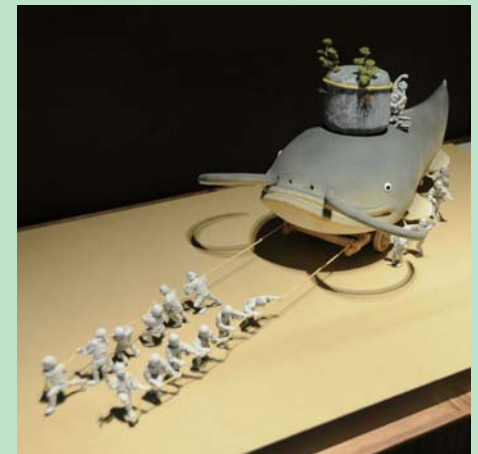


こおうほういん
牛玉宝印

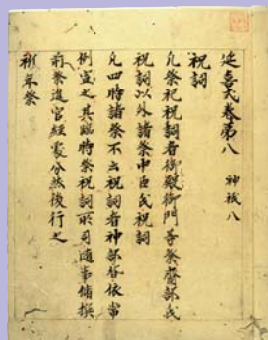
まつりで引かれる「だし」



ぎおん
京・祇園祭礼絵巻



つげまつり
江戸・神田祭（附祭）鯨ひきもの（復元）



『延喜式』祝詞
（國學院大學図書館蔵）